

記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年8月4日朝刊 西部版

## 髪寄付「僕も」 病児アシスト



ヘアドネーションのため、3年かけて伸ばした髪を切る伊藤正悟君  
11月7日 菊川市の「Hairroom Cover」

「病氣の手に自分の髪を贈りたい」。掛川市立西山口小5年の伊藤正悟君(10)が、病氣などで髪を失った人に入毛で作ったカツラを贈る活動「ヘアドネーション」に協力した。髪を伸ばした期間は3年。黒髪が腰に掛かるほど長くなったサッカ少年は7月下旬、菊川市内の美容院で断髪に臨んだ。



40センチ髪を切り、笑顔を見せる伊藤君

掛川の小5・伊藤正悟君

髪を伸ばすきっかけは2年生の道徳の授業。小児がんの女の子が髪を失ったという話を聞き、胸を締め付けられた。「何かできないかな。そんな思っていたある日、テレビ番組でヘアドネーションを知り、髪を伸ばそうと決意した。

これまでの3年間、苦労は少なくなかった。男の子なのに「しつ」と疑問に思われ、同級生にからかわれたことも。学校から引きながら帰った時、母親の佳美さん(40)が入と通つてくるまると風当たりも強い。それに勝つか負けるかは自分次第」と語り掛ける。負けず嫌いの伊藤君は改

## 3年ごし 40センチ断髪 授業きっかけ、家族も応援

めて意志を固めた。周囲に髪を伸ばす理由を話すと理解し、次第に応援してくれるようになった。長い髪は手入れに手間が掛かった。毎日、両親が手伝って伊藤君の髪を丁寧に洗い、乾かし、縛った。大好きなサッカーの練習も、夏は特に大変だった。

カットの日、伊藤君は髪を三編みにし、後ろでつなぎめた姿で菊川市の美容院「Hairroom Cover」(ヘアールームカバー)を訪れた。同美容院で男の子のヘアドネーションに協力するのは初めて。美容師の藤田将人代表(36)はやや硬い表情の伊藤君を出迎えると、長さがそろつた髪をいくつもの束に縛り、その一束ずつに丁寧にハサミを入れた。

切り取った髪の長さは約40センチ。バリカンも使って刈り上げた頭を触った伊藤君の第一声は「ない!」。そして、「すっきりして軽くなった」と晴れやかな笑顔を見せた。

佳美さんは「からかわれたり、褒められたり、多くの価値観に触れ、いろいろ経験ができたと思う」と振り返る。3年ぶりに短髪になった伊藤君は「病氣の子に喜んでほしい。大切に使うからえたら」とほかに。 (掛川支局・伊藤まこと)

①病氣などで髪を失った人に入毛で作ったカツラを贈る活動を何と呼びますか。

②伊藤さんが髪を伸ばそうと考えたきっかけは何ですか。

③からかいなどに負けずに3年間、伊藤さんが髪を伸ばし続けることができた理由を記事から考えて書きましょう。

④この取り組みから伊藤さんが学んだことは何だと思いますか。記事を参考に書きましょう。

年 組 名前

## 解答例

2020年8月4日朝刊 西部版

記事を読んで、問いに答えましょう。

# 髪寄付「僕も」 病児アシスト

①病気などで髪を失った人に人毛で作ったカツラを贈る活動を何と呼びますか。

( **ヘアドネーション** )

②伊藤さんが髪を伸ばそうと考えたきっかけは何ですか。

(2年生の) 道徳の授業で小児がんの女の子が髪を失ったという話を聞き、胸を締め付けられたから。

③からかいなどに負けずに3年間、伊藤さんが髪を伸ばし続けることができた理由を記事から考えて書きましょう。

(例) **周囲に髪を伸ばす理由を話すと理解し、次第に応援してくれるようになったから。**

**お母さんが「人と違うことをすると風当たりも強い。それに勝つか負けるかは自分次第」とアドバイスをくれたから。など**



ヘアドネーションのため、3年かけて伸ばした髪を切る伊藤正悟君  
7月下旬、菊川市の「Hairroom Cove」

「病氣の手に自分の髪を贈りたい」。掛川市立西山口小5年の伊藤正悟君(10)が、病氣などで髪を失った人に入毛で作ったカツラを贈る活動「ヘアドネーション」に協力した。髪を伸ばした期間は3年。黒髪が腰に掛かるほど長くなったカツラ少年は7月下旬、菊川市内の美容院で断髪に臨んだ。

## 掛川の小5・伊藤正悟君



40センチ髪を切り、笑顔を見せる伊藤君

髪を伸ばすきっかけは2年生の道徳の授業。小児がんの女の子が髪を失ったという話を聞き、胸を締め付けられた。「何かできないかな。そんな思っていたある日、テレビ番組でヘアドネーションを知り、髪を伸ばそうと決意した。

これまでの3年間、苦労は少ななかった。男の子なのに「しつ」と疑問に思われ、同級生にからかわれた。学校から引きながら帰った時、母親の佳美さん(40)が入と通うことをすると風当たりも強い。それに勝つか負けるかは自分次第」と語っている。負けず嫌いの伊藤君は改

## 3年ごし 40センチ断髪 授業きっかけ、家族も応援

めて意志を固めた。周囲に髪を伸ばす理由を話すと理解し、次第に応援してくれるようになった。長い髪は手入れに手間が掛かった。毎日、両親が手伝って伊藤君の髪を丁寧に洗い、乾かし、縛った。大好きなサッカークラブの練習も、夏は特に大変だった。

カットの日、伊藤君は髪を三編みにし、後ろでつなぎめた姿で菊川市の美容院「Hairroom Cove」(ヘアールームカバ)を訪れた。同美容院で男の子のヘアドネーションに協力するのは初めて。美容師の藤田将人代表(36)はやや硬い表情の伊藤君を出迎えると、長さがそろそろ髪をいづつもの束に縛り、その束ずつに丁寧にハサミを入れた。

切り取った髪の長さは約40センチ。バリカンも使うと刈り上げた頭を触った伊藤君の第一声は「ない!」。そして、「すっきりして軽くなった」と晴れやかな笑顔を見せた。

佳美さんは「からかわれたり、褒められたり、多くの価値観に触れ、いろいろ経験ができたと思う」と振り返る。3年ぶりに短髪になった伊藤君は「病氣の子に喜んでほしい。大切に使うからえたら」とほかに。 (掛川支局・伊藤まこと)

④この取り組みから伊藤さんが学んだことは何だと思いますか。記事を参考に書きましょう。

(例) (からかわれたり、褒められたり、) 多くの価値観に触れ、いろいろな経験ができたこと。  
人に話をして自分がしようとすることを理解してもらうことが大切であること。  
自分が決意したことを最後までやり通すことの大切さ。 など

## 年 組 名前